

フィールド訪問002 京都大学防災研究所

経済のグローバル化と共に、デジタル、AI、バイオ、ロボティクスなど急速な技術進化がみられる一方、国際社会の課題はさまざまな分野で拡大し深刻化しています。特に近年、地球温暖化などを背景とした自然災害による被害は世界で甚大化する傾向にあり、防災・減災に関わる技術、製品、サービスなどの対応策は、日本だけでなく広く世界中で求められています。

しかし、防災・減災に関連する業界・分野が建設、情報、電機、運送、医療、食品など多岐にわたる点、更に災害現場で何がどのような形や規模で起きるのか、そのリアルな実態を知らずに今までの知識で臨んでいるという点が、社会実装可能な解決策の導出を難しくしているのかもしれない。

今回は「デザインレクチャー」との連動企画として、一般では訪問することが難しい京大防災研宇治川ラボラトリーを訪問します。防災研究の最前線を知り、体感することで、産学官・異業種協働による現場感のある問題発見・解決の契機と致します。研究開発テーマ探索、ビジネス企画テーマ探索にご興味のある方、奮ってご参加ください。

日時

2020年1月31日(金) 13:30 ~ 16:00

(京阪中書島駅 13:00集合後、徒歩で移動)

訪問先

京都大学防災研究所附属流域災害研究センター 宇治川オープンラボラトリー

<http://rcfcd.dpri.kyoto-u.ac.jp/openlab/index.html>

内容

- ・京都大学防災研究所 牧 紀男 教授 によるガイダンス
- ・ビデオによる解説と防災研究用設備体験学習



雨水流出体験



浸水体験



流水階段体験

対象

京都大学デザインイノベーションコンソーシアム会員 限定

定員

15名 (定員になり次第〆切)

参加費

2,000円

申込〆切

2020年1月24日 (金)

詳細・申込

<http://designinnovation.jp/topics/2019/12/field002.html>



「フィールド訪問」は様々な産業の価値が生まれ出されている場、旧来からの価値が維持されている場を訪ね、各人の専門領域の視点から意見を出し合い議論を重ねることで領域横断的課題に相対した際の問題発見プロセスを学ぶ場です。敢えて自身の専門分野、業界とは異なる対象を観察することで、目の前の事象を相対化し、より俯瞰的な視点から問題を捉え、解決策を考えることができるようになることを目指しています。

主催：京都大学デザインイノベーションコンソーシアム

問合せ：京都大学デザインイノベーションコンソーシアム事務局 メール info@designinnovation.jp